



CADからPDFに変換したデータを開く

PDFファイルの制限	1
PDFファイルの読み込み	1
図形拡大	2

画像のみのPDFデータを開く

PDFファイルの読み込み	4
PDFファイルの貼付け	5
青焼き補正	6
傾き補正	7
距離補正	8
画像塗りつぶし	9
消しゴム	10
画像ロック	10
画像データ保存についての注意点	11

CAD化

画像を線分に変換	12
図形を文字に置換	13

写真・イラスト

BMP・JPEG・TIFFファイルの貼付け	14
サイズ変更	15
画像一辺カット	15
画像データ保存についての注意点	15

画像貼付け

画像コピー	16
画像貼付け	16
画像一辺カット	16

画像出力

用紙色の変更	17
画像出力	18

CADからPDFに変換したデータを開く

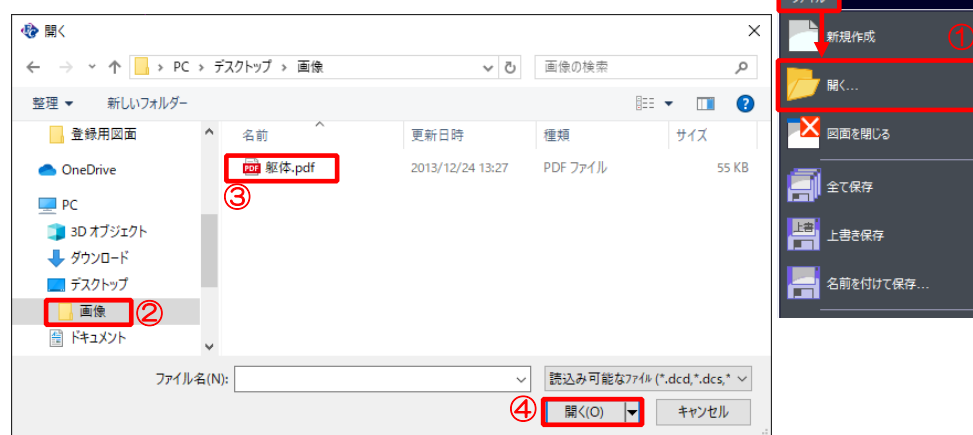
● PDF ファイルの制限 ●

文字は、プロッターフォント以外 MS ゴシックで読み込みます。(ただし、正確に読み込めない場合もあります。)
プロッターフォントで配置された文字は、図形となって読み込みます。
線幅は近い太さで読み込みます。

● PDF ファイルの読み込み ●

CAD から変換した PDF データを図形として読み込みます。
図形は「PDF」レイヤに入ります。

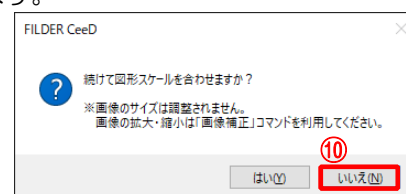
- ① [ファイル]-[開く]コマンドを実行します。
- ② ファイルを保存してあるフォルダを選択します。



- ③ ファイル名を選択します。
- ④ [開く]ボタンをクリックします。
- ⑤ PDF ファイルの用紙サイズを選択します。
- ⑥ 用紙の方向を選択します。
- ⑦ 図面のスケールを設定します。



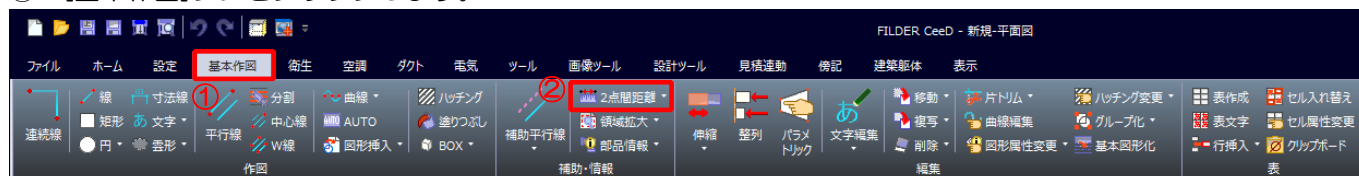
- ⑧ 複数ページのPDF ファイルの場合は、読み込むページ番号を設定します。
- ⑨ [OK]ボタンをクリックします。
- ⑩ [いいえ]ボタンをクリックします。



● 図形拡大 ●

貼付けた PDF データの寸法値と実際の長さが違う場合は、図形拡大を行います。

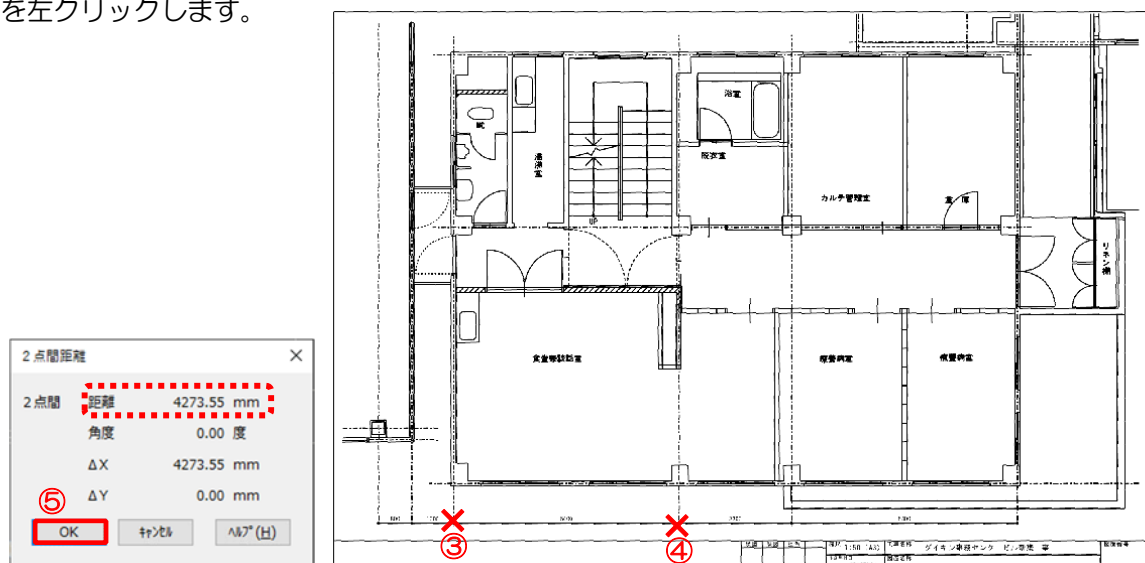
① [基本作図]タブをクリックします。



② [2点間距離]コマンドを実行します。

③ 寸法を確認する始点を左クリックします。

④ 終点を左クリックします。



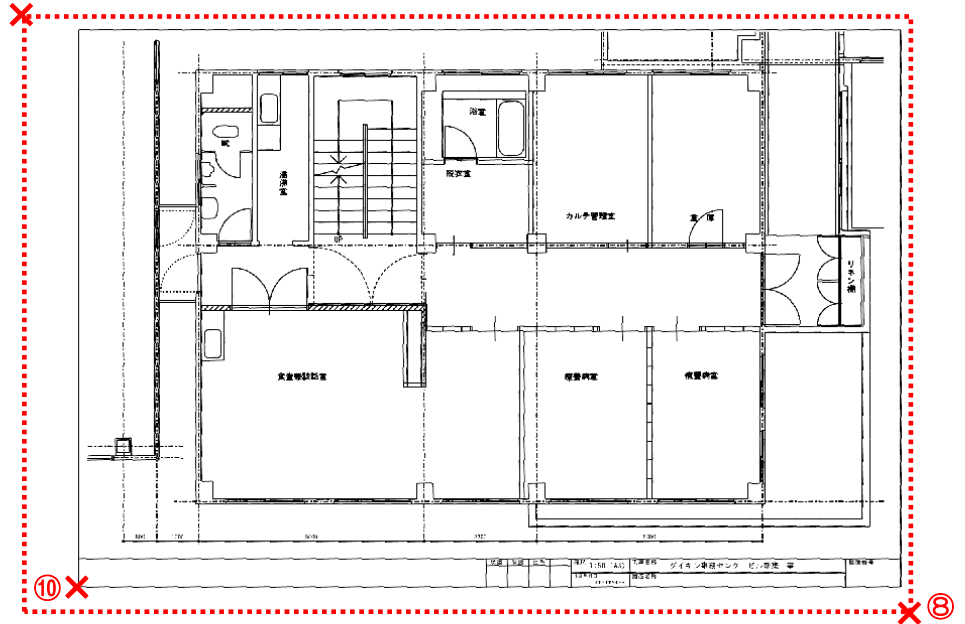
⑤ 距離を確認し、[OK]ボタンをクリックします。

⑥ コマンドキャンセルします。

⑦ [伸縮]-[図形拡大・縮小(スケール合わせ)]コマンドを実行します。



- ⑧ 読込んだデータを囲むように選択します。



- ⑨ 右クリックで確定します。
 ⑩ 拡大（縮小）の基点となる位置で左クリックします。
 ⑪ 「距離で拡大率を自動計算」にチェックを入れます。

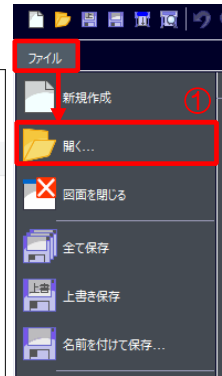
- ⑫ 「拡大前距離」に⑤で確認した距離をキー入力します。
 ※ 確認した距離を忘れてしまった場合は、[距離参照]ボタンをクリックし、寸法を確認した始点と終点をクリックします。自動的に「拡大前距離」に数値が入ります。
 ⑬ 「拡大後距離」に寸法線の距離をキー入力します。
 ⑭ [OK]ボタンをクリックします。

画像のみのPDFデータを開く

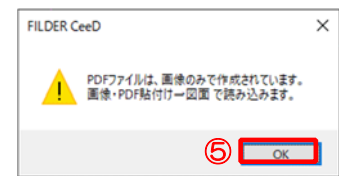
● PDF ファイルの読み込み ●

画像のみの PDF データ（スキャナで取込んだ PDF など）を読み込みます。
画像は「画像」レイヤ、「画像」シートに貼付けられます。

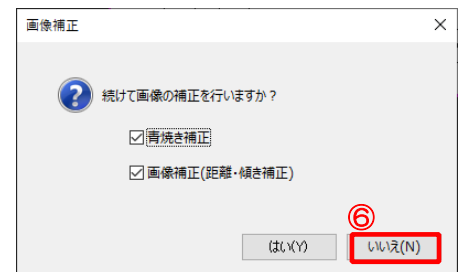
- ① [ファイル]-[開く]コマンドを実行します。
- ② ファイルを保存してあるフォルダを選択します。



- ③ ファイル名を選択します。
- ④ [開く]ボタンをクリックします。
- ⑤ [OK]ボタンをクリックします。



- ⑥ [いいえ]ボタンをクリックします。



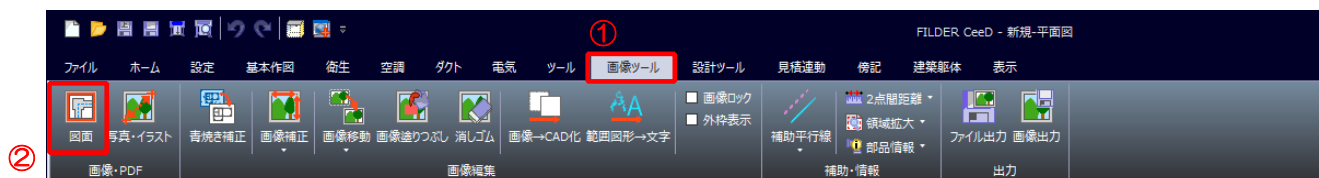
● PDF ファイルの貼付け ●

[画像ツール]-[図面]コマンドでは、現在開いているファイルに画像データを原寸の大きさに貼付けます。貼付け可能なファイルは、PDF ファイル・BMP ファイル・JPEG ファイル・GIF ファイル・TIFF ファイル、PNG ファイルです。

画像は「画像」レイヤ、「画像」シートに貼付けられます。

※ 「画像」レイヤは他のレイヤの最背面に位置づけられています。

① [画像ツール]タブをクリックします。



② [図面]コマンドを実行します。

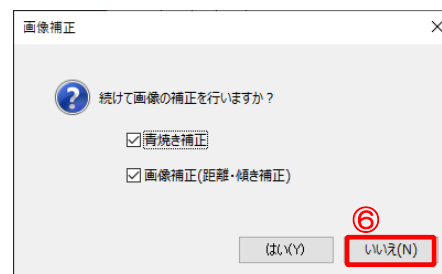
③ ファイルを保存してあるフォルダを選択します。

④ ファイル名を選択します。



⑤ [開く]ボタンをクリックします。

⑥ [いいえ]ボタンをクリックします。



※ 解像度など貼付ける画像データの属性を設定する場合は、②の後に[キャンセル]ボタンをクリックし設定を行います。

③の操作に戻る場合はコマンドプロパティの[ファイル選択]ボタンをクリックします。

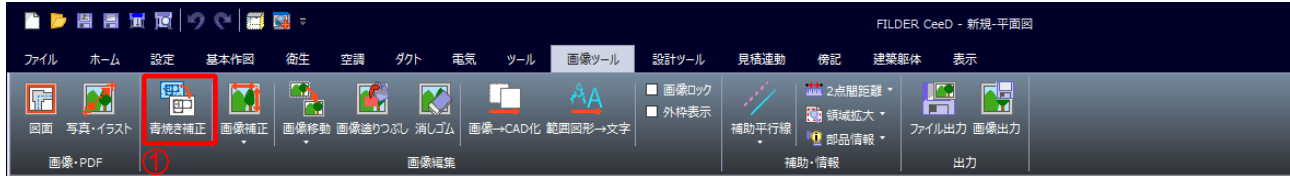


● 青焼き補正 ●

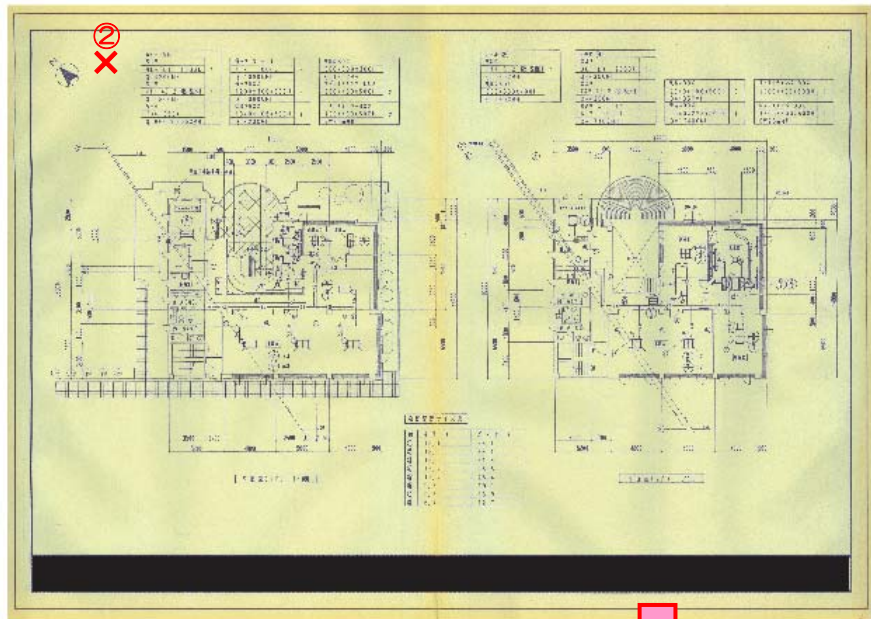
画像データが青焼きの場合は、青焼き補正を行います。

※ 画像データを貼付ける際に、「図面内に格納」を「Off」にして貼付けた場合は、本コマンドを実行し書き保存すると、元の画像データが編集されるので、ご注意ください。

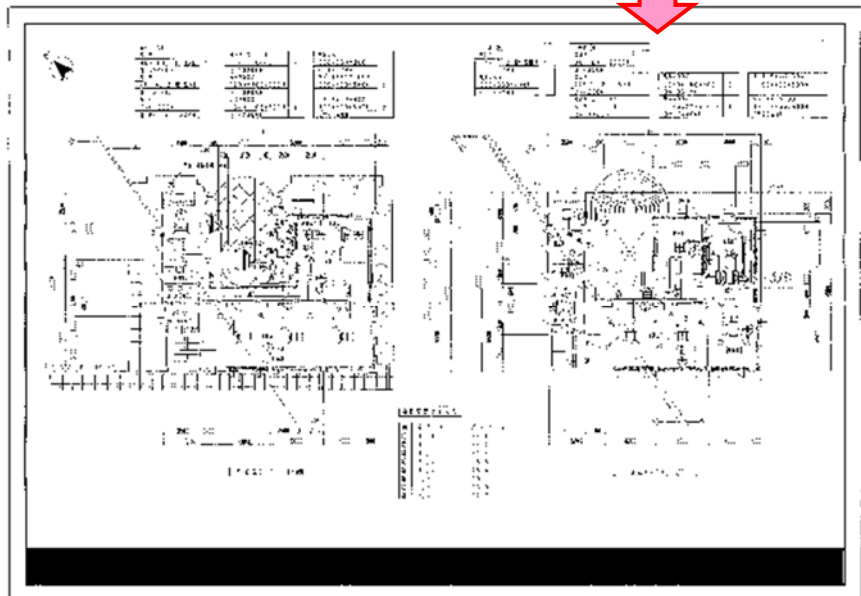
① [青焼き補正]コマンドを実行します。



② 補正する画像をクリックします。



③ 右クリックで確定します。

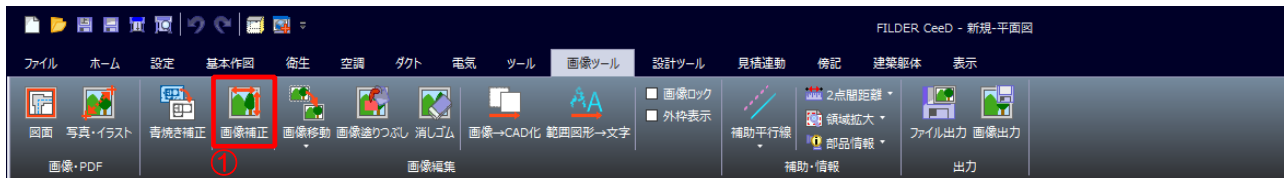


● 傾き補正 ●

画像データが傾いている場合は、傾き補正を行います。

※ 画像データを貼付ける際に、「図面内に格納」を「Off」にして貼付けた場合は、本コマンドを実行し上書き保存すると、元の画像データが編集されるので、ご注意ください。

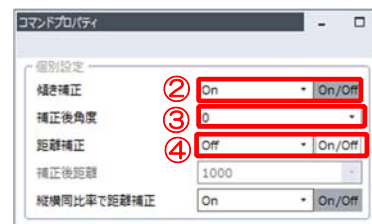
① [画像補正]コマンドを実行します。



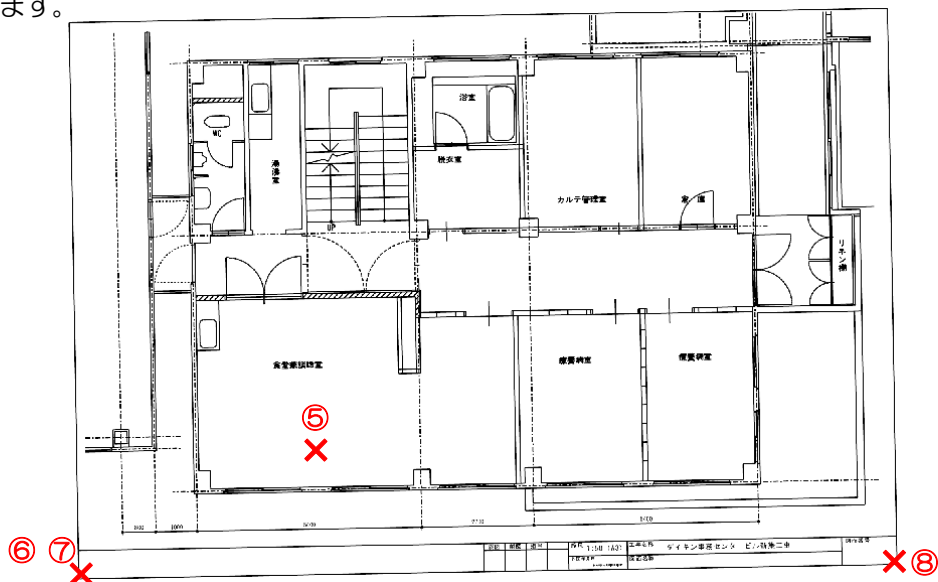
② プロパティの「傾き補正」を「On」にします。

③ 「補正後角度」に「0」とキー入力します。

④ 「距離補正」を「Off」にします。



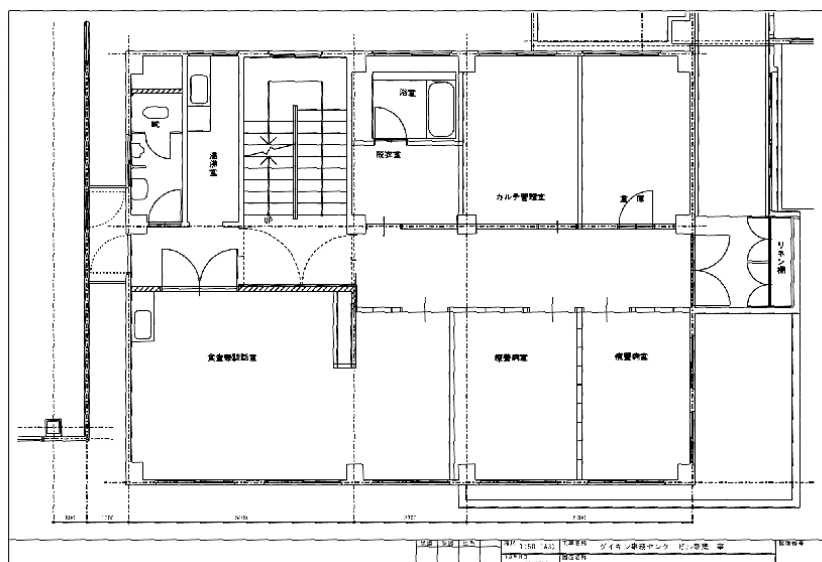
⑤ 補正する画像をクリックします。



⑥ 回転の基点となる位置をクリックします。

⑦ 補正する始点をクリックします。

⑧ 終点をクリックします。

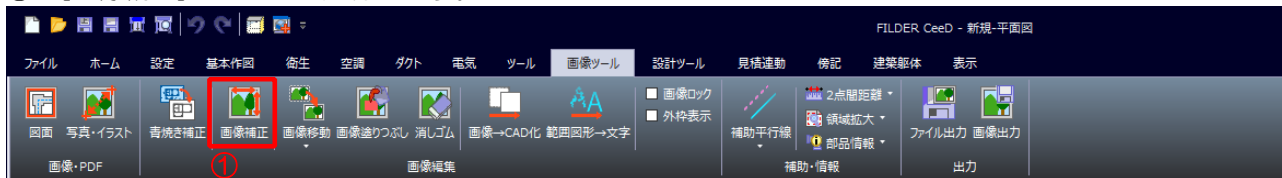


● 距離補正 ●

画像データの寸法値と実際の長さが違う場合は、距離補正を行います。

※ 画像データを貼付ける際に、「図面内に格納」を「Off」にして貼付けた場合は、本コマンドを実行し上書き保存すると、元の画像データが編集されるので、ご注意ください。

① [画像補正]コマンドを実行します。



② プロパティの「傾き補正」を「Off」にします。

③ 「距離補正」を「On」にします。

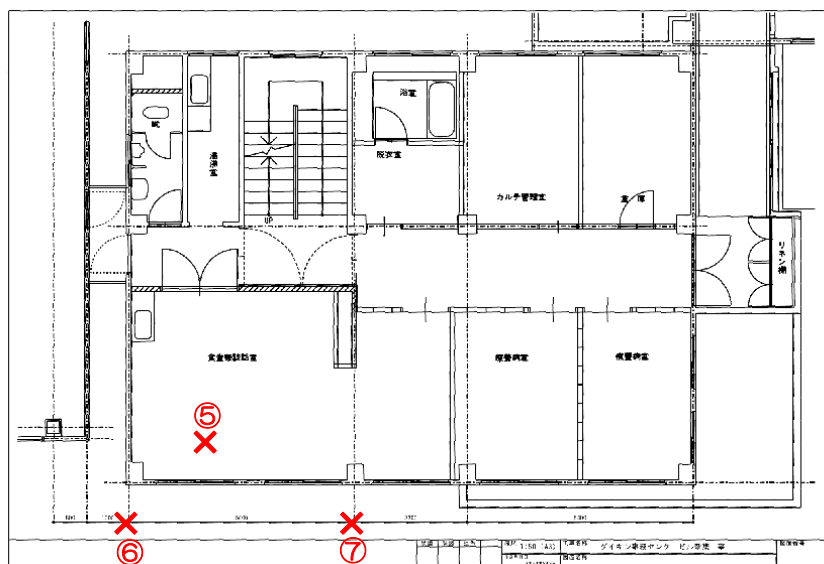
④ 「補正後距離」に実際の長さをキー入力します。



⑤ 補正する画像をクリックします。

⑥ 補正する始点をクリックします。

⑦ 終点をクリックします。



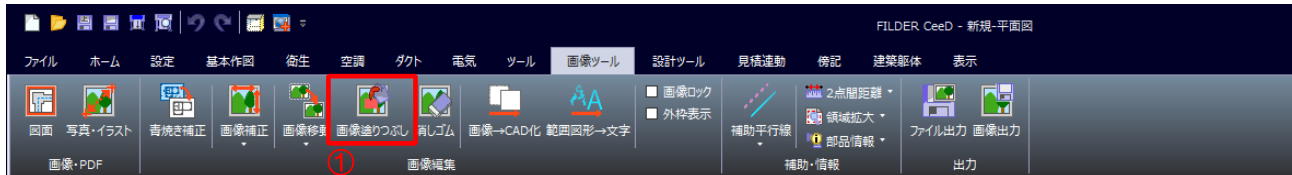
● 画像塗りつぶし ●

画像データ上に不要な図形や文字がある場合は、囲むように範囲を選択して、塗りつぶしを作成します。

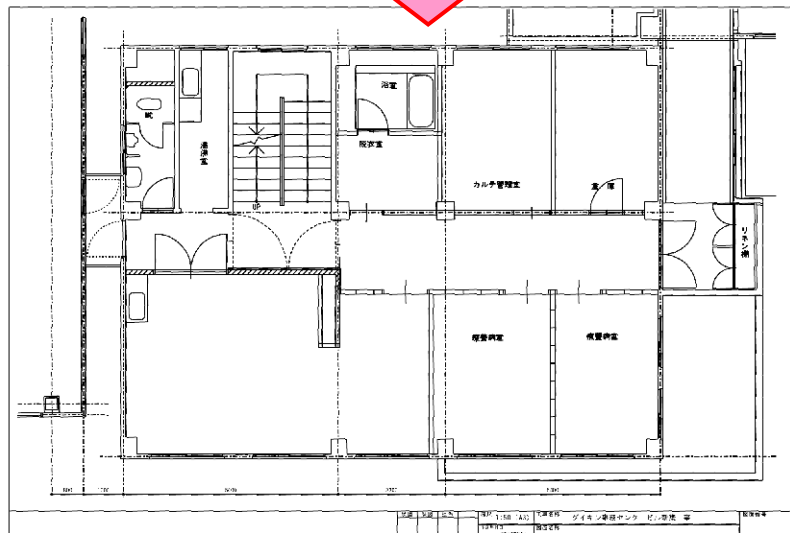
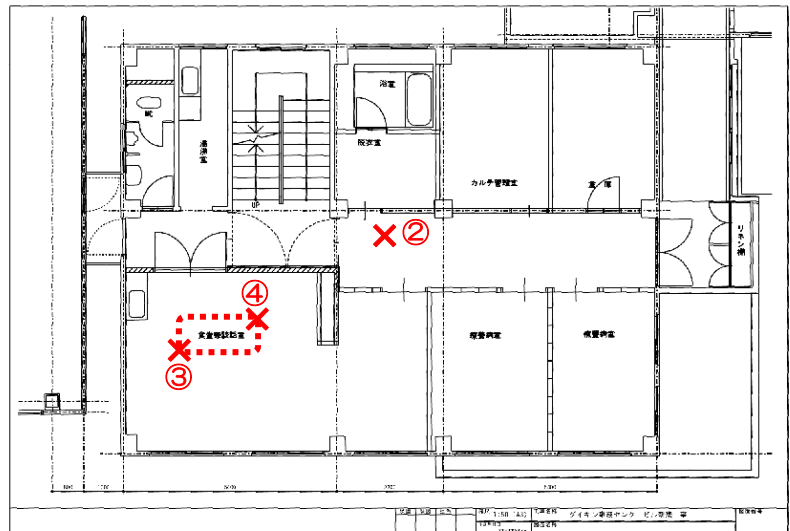
※ 画像データを貼付ける際に、「図面内に格納」を「Off」にして貼付けた場合は、本コマンドを実行し上書き保存すると、元の画像データが編集されるので、ご注意ください。

※ 本コマンドは、[写真・イラスト]コマンドで貼付けた画像に対しても実行可能です。

① [画像塗りつぶし]コマンドを実行します。



- ② 塗りつぶす画像をクリックします。
- ③ 塗りつぶす始点をクリックします。
- ④ 終点をクリックします。



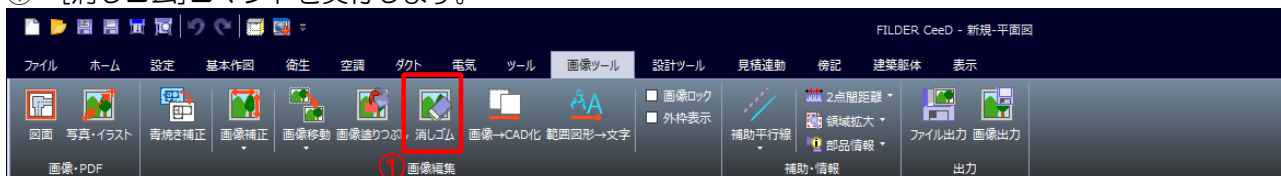
● 消しゴム ●

画像データ上に不要な図形や文字がある場合は、カーソルでなぞるように塗りつぶしを作成します。

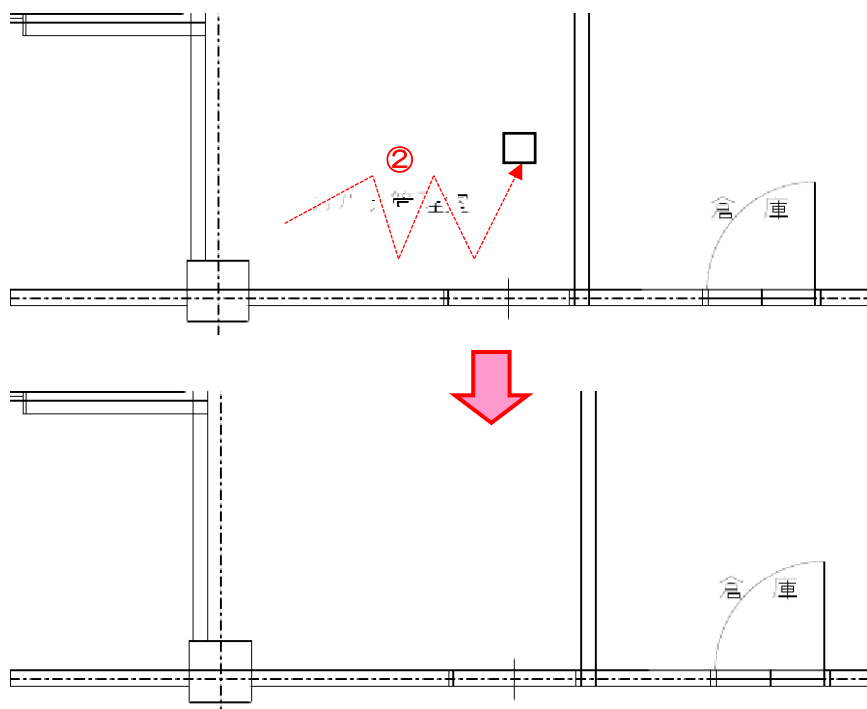
※ 画像データを貼付ける際に、「図面内に格納」を「Off」にして貼付けた場合は、本コマンドを実行し上書き保存すると、元の画像データが編集されるので、ご注意ください。

※ 本コマンドは、[写真・イラスト]コマンドで貼付けた画像に対しても実行可能です。

① [消しゴム]コマンドを実行します。



② 塗りつぶす場所を左クリックした状態で動かします。

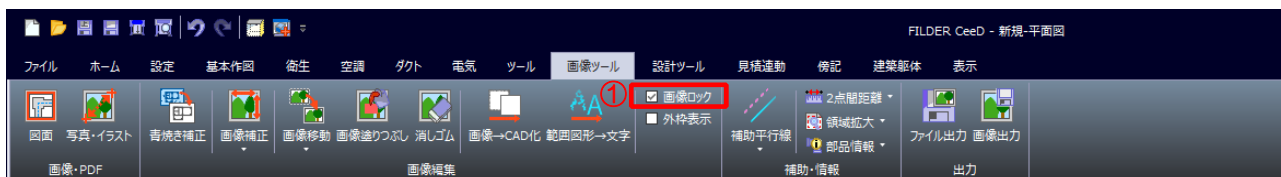


● 画像ロック ●

画像を選択したくない場合に、画像ロックを使用します。

※ 画像ロックは、図面内の全画像データに反映されます。
複数の画像データの中にある、一つの画像データのみに反映させることはできません。

① [画像ロック]にチェックを入れます。



● 画像データ保存についての注意点 ●

FILDER CeeD ファイル (*.dcd)、FILDER Cube ファイル (*.dcs)、FILDER Rise ファイル (*.drs) または FILDER Plus ファイル (*.dps)

画像データを貼付ける際に、「図面内に格納」を「On」にして貼付けた場合は、画像データは図面に格納して保存されます。

ファイルをお渡しになる場合は、DCD ファイル・DCS ファイル・DRS ファイル・DPS ファイルをそのままお渡しください。

「図面内に格納」を「Off」にして貼付けた場合は、画像データを参照している状態で保存されます。

ファイルをお渡しになる場合は、DCD ファイル・DCS ファイル・DRS ファイル・DPS ファイルと、画像データを組合せてお渡しください。

画像データは貼付けた時と同じフォルダ、同じファイル名としておきます。

DWG ファイル (*.dwg) または DXF ファイル (*.dxf)

画像データを貼付ける際に、「図面内に格納」を「On」にして貼付けた場合は、画像データは外部に保存されます。(ファイル名@1.bmp)

ファイルをお渡しになる場合は、DWG ファイル・DXF ファイルと同じフォルダに保存されている画像データを組み合わせてお渡しください。

「図面内に格納」を「Off」にして貼付けた場合は、画像データを参照している状態で保存されます。

ファイルをお渡しになる場合は、DWG ファイル・DXF ファイルと、画像データを組合せてお渡しください。

画像データは貼付けた時と同じフォルダ、同じファイル名としておきます。

JW-CAD 図面ファイル (*.JWW)

画像データ情報を持ったままの保存が可能です。

画像データを貼付ける際に、「図面内に格納」を「On」にして貼付けた場合は、保存するバージョンによって動きが異なります。バージョン 7.0 で保存した場合は、[設定]-[JWW 設定]の「ラストデータの取扱い」の設定に従って保存されます。バージョン 2.30~5.0 で保存した場合は、画像データは外部に保存されます。(ファイル名@1.bmp)

ファイルをお渡しになる場合は、JWW ファイルと同じフォルダに保存されている画像データを組合せてお渡しください。

「図面内に格納」を「Off」にして貼付けた場合は、画像データを参照している状態で保存されます。

ファイルをお渡しになる場合は、JWW ファイルと、画像データを組合せてお渡しください。

画像データは貼付けた時と同じフォルダ、同じファイル名としておきます。

SXF ファイル (*.sfc、*.p21)

バージョン 2.0 では、一つの画像データがモノクロで保存されます。

バージョン 3.0-CC1 では、複数の画像データ (30 個まで) に対応しており、

JPEG ファイルはカラーで、その他 TIFF ファイル・BMP ファイル・GIF ファイル・PNG ファイルはモノクロで保存されます。

画像データは外部に保存されます。

ファイルをお渡しになる場合は、SXF ファイルと同じフォルダに保存されている画像データを組合せてお渡しください。

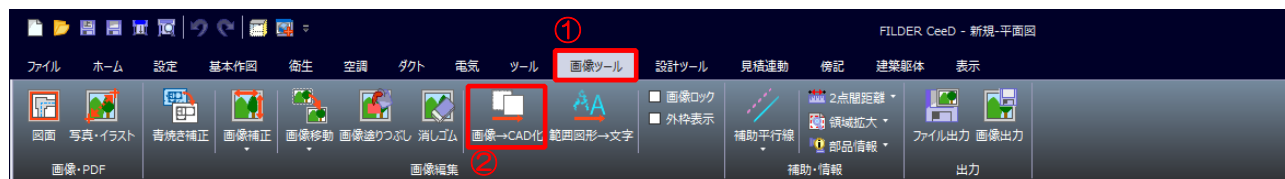
CAD化

[ファイル]-[開く]または[画像ツール]-[図面]コマンドで貼付けたPDF(スキャナで取込んだPDFなど)を、線分に変換(CAD化)します。
CAD化した図形は「CAD化-1」シートに貼付けられます。(複数のPDFをCAD化した場合は、最後の数値がカウントアップされます。)

また、線分を文字に置換えができます。

● 画像を線分に変換 ●

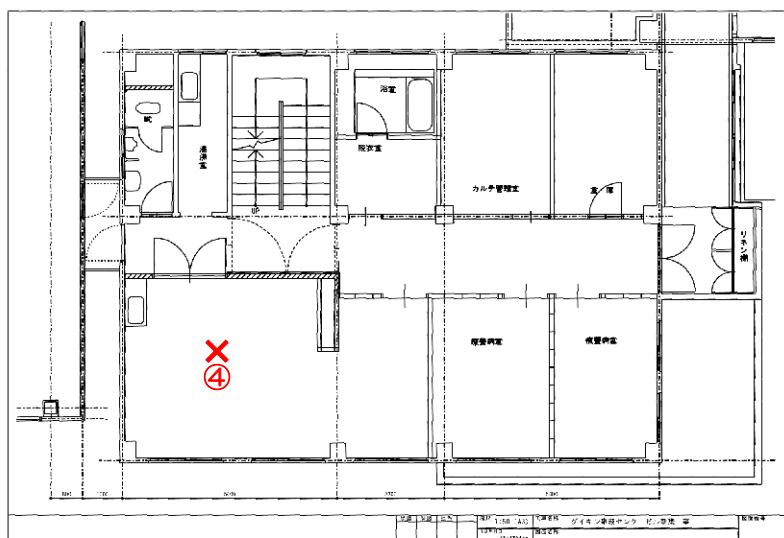
① [画像ツール]タブをクリックします。



② [画像→CAD化]コマンドを実行します。

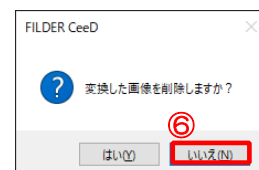
③ [はい]ボタンをクリックします。

④ 変換する画像をクリックします。



⑤ 右クリックで確定します。

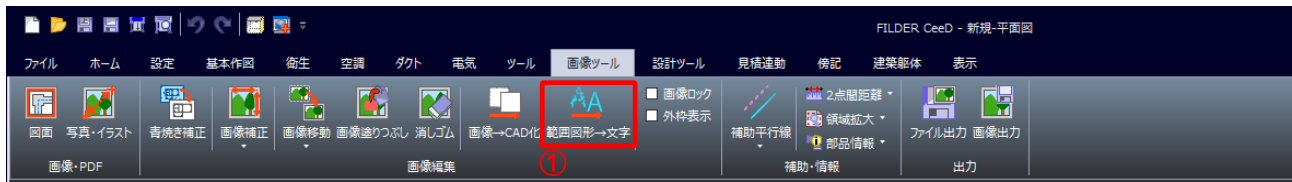
⑥ [いいえ]ボタンをクリックします。



※ CAD化した図形のみ表示する場合は、画面左下「画像」のシートタブ上で右クリックしてショートカットから「非表示」を選択します。

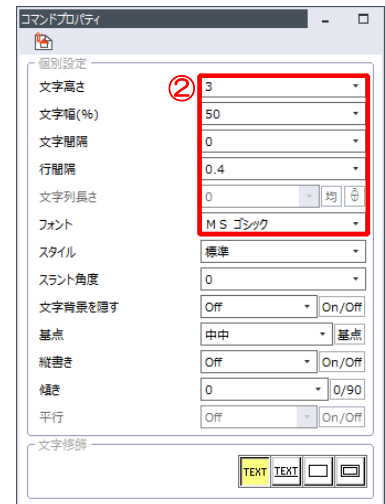
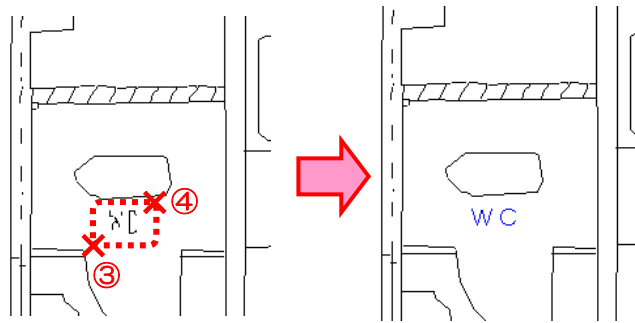
● 図形を文字に置換 ●

① [範囲図形→文字]コマンドを実行します。



② プロパティで「文字高さ」などを設定します。

③ 文字に置換える図形の始点をクリックします。

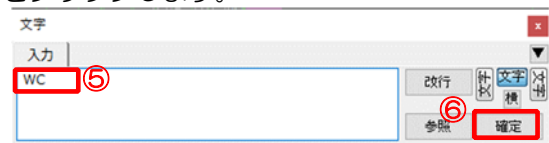


④ 終点をクリックします。

⑤ 文字をキー入力します。

※ 文字の向きを変更する場合は、[横]または[縦]ボタンをクリックします。
仮表示で確認ができます。

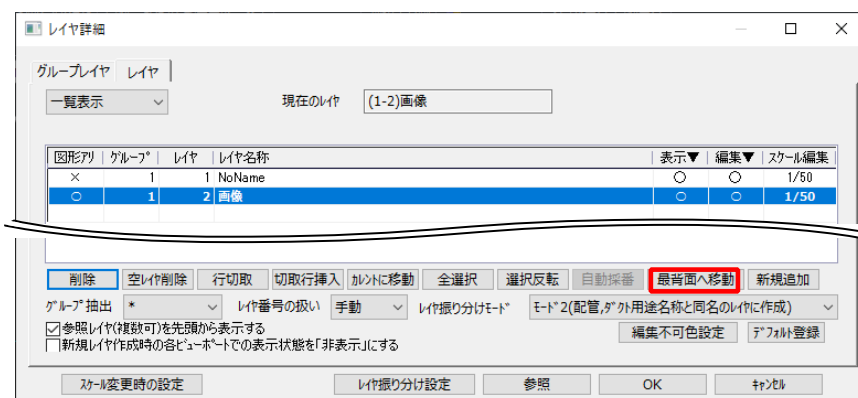
⑥ [確定]ボタンをクリックします。



写真・イラスト

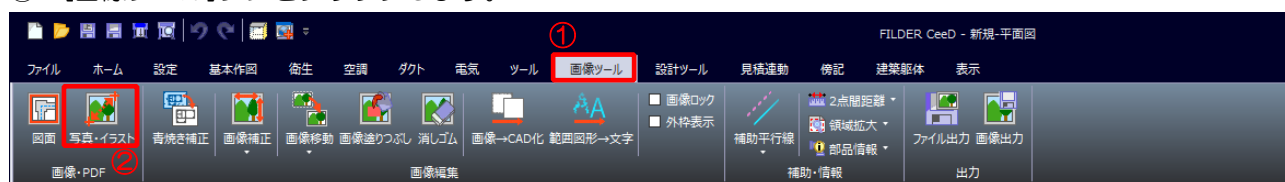
[画像ツール]-[写真・イラスト]コマンドでは、画像データを大きさ・傾きを指定して貼付けます。
貼付け可能なファイルは、PDF ファイル・BMP ファイル・JPEG ファイル・GIF ファイル・TIFF ファイル・PNG ファイルです。
画像はカレントレイヤに貼付けられます。

※ カレントレイヤに貼付けられるので、他の図形が画像の下に隠れてしまう場合があります。
図形が隠れないように画像のレイヤを作成し、画像をそのレイヤに貼付けます。
[レイヤ詳細]ダイアログで画像のレイヤを選択し、[最背面へ移動]ボタンをクリックして最背面にしてください。

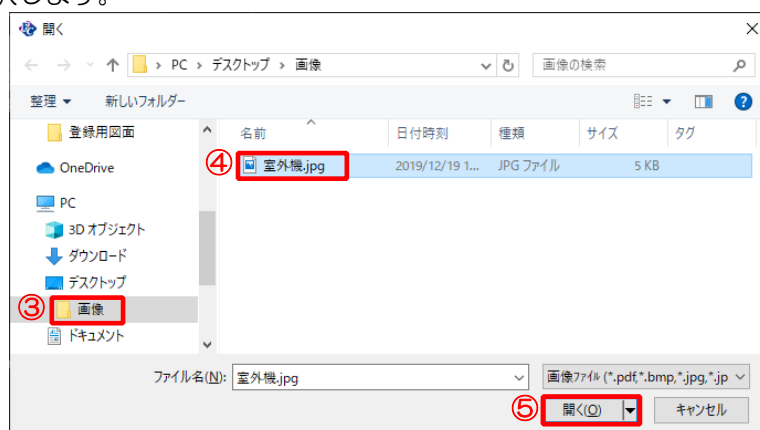


● BMP・JPEG・TIFF ファイルの貼付け ●

① [画像ツール]タブをクリックします。



- ② [写真・イラスト]コマンドを実行します。
- ③ ファイルを保存してあるフォルダを選択します。
- ④ ファイル名を選択します。
- ⑤ [開く]ボタンをクリックします。



- ⑥ 左下基点をクリックします。
- ⑦ 右上点をクリックします。



※ 貼付ける画像データの属性を設定する場合は、⑥の基点をクリックする前にコマンドプロパティにて設定を行います。

[図面内に格納]

貼付ける画像データを図面内に格納する場合は On

[画像をロック]

画像を選択不可の状態にする場合は On

[画像ツール]-[画像ロック]のチェックの On・Off でも切替え可能。

[解像度(PDF 変換)]

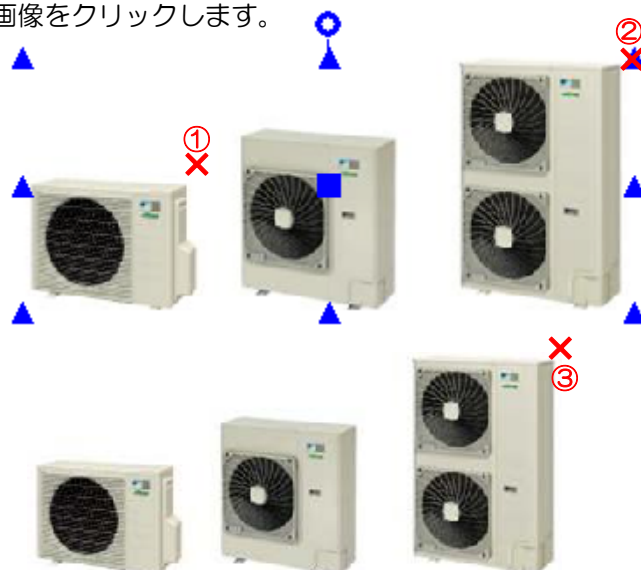
PDF から変換する時の解像度を選択



● サイズ変更 ●

貼付けた画像データの大きさを変更します。

① コマンドキャンセルの状態では、サイズ変更する画像をクリックします。



② コントロールポイントをクリックします。

③ 大きさを決める位置でクリックします。

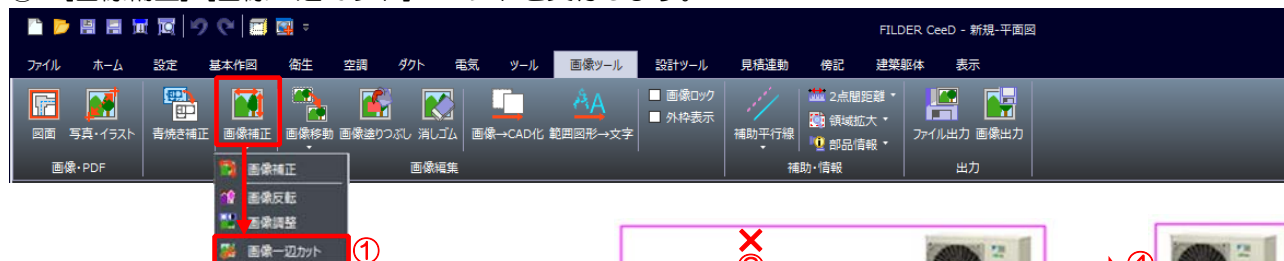
● 画像一辺カット ●

貼付けた画像の不要な部分を取り除きます。

※ 画像データを貼付ける際に、「図面内に格納」を「Off」にして貼付けた場合は、本コマンドを実行し書き保存すると元の画像データが編集されるのでご注意ください。

※ 本コマンドは、[図面]で貼付けた画像に対しても実行可能です。

① [画像補正]-[画像一辺カット]コマンドを実行します。



② カットする画像をクリックします。

③ カットする辺をクリックします。

④ カットする位置をクリックします。

● 画像データ保存についての注意点 ●

内容は、「図面」の「● 画像データ保存についての注意点 ●」と同じになります。

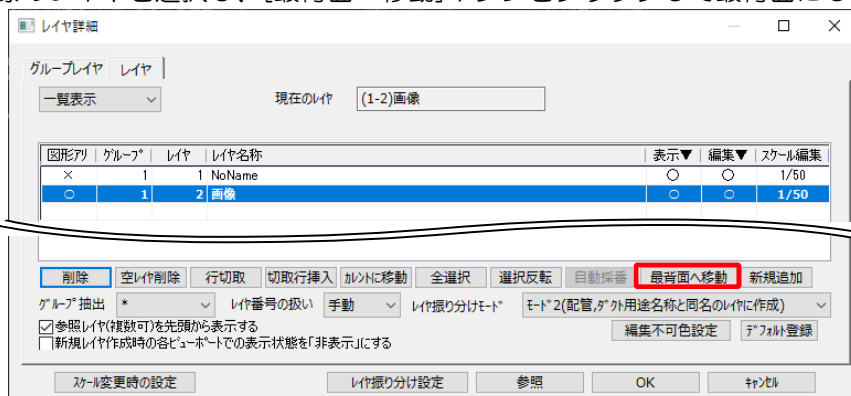
画像貼付け

[ホーム]-[画像領域貼付け]コマンドでは、ホームページなどからコピーした画像データを大きさ・傾きを指定して貼付けます。

機器のイメージなどを直接図面に貼付けられます。

画像はカレントレイヤに貼付けられます。

- ※ カレントレイヤに貼付けられるので、他の図形が画像の下に隠れてしまう場合があります。
図形が隠れないように画像のレイヤを作成し、画像をそのレイヤに貼付けます。
[レイヤ詳細]ダイアログで画像のレイヤを選択し、[最背面へ移動]ボタンをクリックして最背面にしてください。



● 画像コピー ●

- ① インターネットの画面上で右クリックし、[コピー]コマンドを実行します。

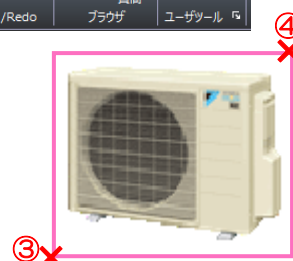


● 画像貼付け ●

- ① [ホーム]タブをクリックします。



- ② [画像領域貼付け]コマンドを実行します。
③ 左下基点をクリックします。
④ 右上点をクリックします。



● 画像一辺カット ●

内容は、「写真、イラスト」の「● 画像一辺カット ●」と同じになります。

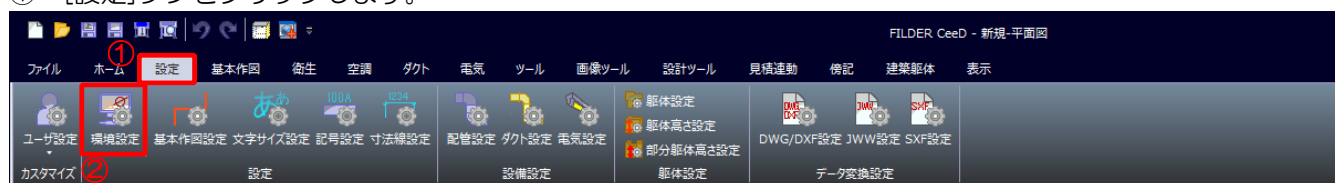
画像出力

● 用紙色の変更 ●

[画像ツール]-[画像出力]コマンドでは、図面データの一部を画像として保存します。
保存可能なファイルは、JPEG ファイル・TIFF ファイル・BMP ファイルの3種類です。

※ 用紙の色がそのまま画像として出力されますので、用紙の色を白に変更してください。

① [設定]タブをクリックします。



② [環境設定]コマンドを実行します。

③ 「その他の色」タブをクリックします。

④ 「用紙」の[...]ボタンをクリックします。

⑤ 色を選択します。



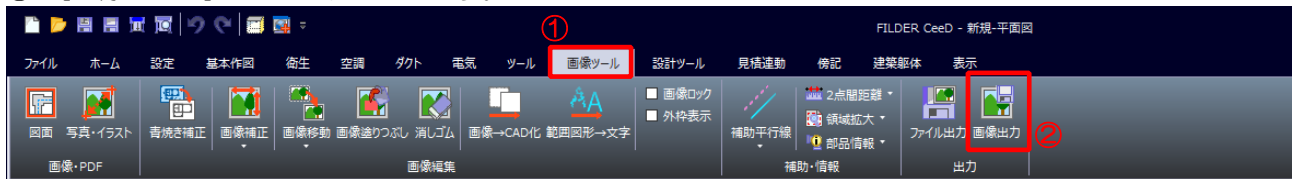
⑥ [OK]ボタンをクリックします。

⑦ [OK]ボタンをクリックします。



● 画像出力 ●

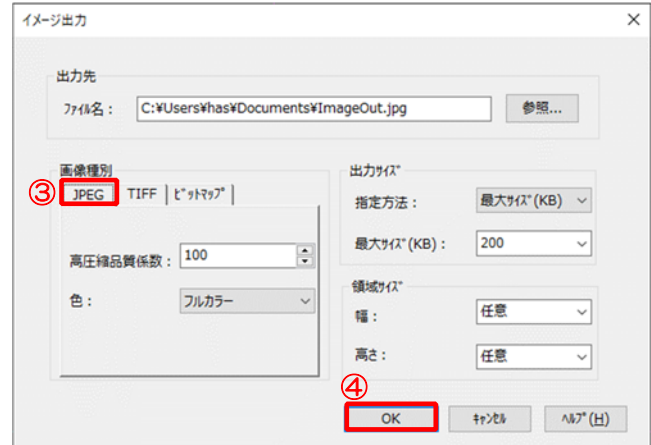
① [画像ツール]タブをクリックします。



② [画像出力]コマンドを実行します。

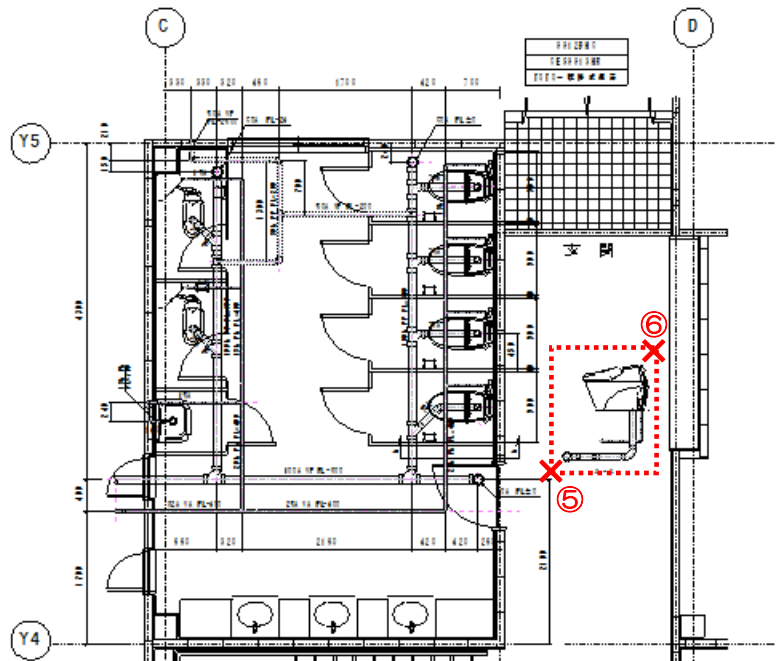
③ 「画像種別」から変換するファイルの種類のタブをクリックします。

④ [OK]ボタンをクリックします。

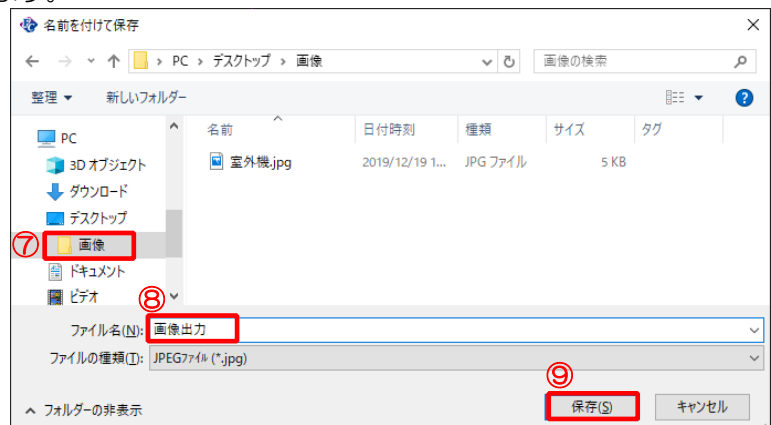


⑤ 画像出力する始点をクリックします。

⑥ 終点をクリックします。



⑦ ファイルを保存するフォルダを選択します。



- ⑧ ファイル名をキー入力します。
- ⑨ [保存]ボタンをクリックします。
- ⑩ [キャンセル]ボタンをクリックします。

